

FIG 第 8 分科会報告

Final Report Commission 8, 2007-2010 抄訳 (谷下雅義)

4 年間の戦略的な義務(strategic duty)

- 個々人の自由とコミュニティの責任のバランス
- 法的ルールと地域での実践のマネジメント
- 土地利用規制と開発のファシリテーション

地球規模での課題への貢献

- 都市化：防災，インフォーマルセクターの居住問題
- 海岸線：海面上昇
- 環境：自然再生，エネルギーへのアクセス権と技術

Commission の活動成果

- UN Habitat, FAO, World Bank との連携
- コスタリカでの 2007FIG Regional Working Week でのキーノート論文の提供
- 貧困層の居住問題 WG を，FIG Sub-Saharan Africa Task Force で宣伝
- FIG のメンバー組織との連携継続
- FIG の印刷物への貢献 (42, 43, 51, 53, 55)

Working Groups

- 土地専門家 (Land Professionals) の能力開発の支援，2 冊の印刷物への貢献。
 - ・ The Road Towards More Sustainable Places: Informal settlements, 42
 - ・ Spatial Planning in Coastal Regions: Facing the impact of Climate Change, 55
- Informal Settlement
 - ・ 地域および政策レベルで活躍，スラムにおける破産問題について検討開始。
 - ・ Sub-Saharan Africa 議会(2009)において，2009-2014 年まで Task Force として活動すべきことが確認された。
- Urban Coasts
 - ・ ここ 4 年で重要なテーマとなった。コスタリカでの 2007FIG Regional Working Week でのキーノート論文を提供した。
 - ・ 気候変動の影響は海岸線地域で大きく，適応策の検討が必要である。気候的にも商業的にも圧力がかかる地域であり，境界，防災計画，政治的枠組み，商業人口の増加などについてさらなる議論が必要である。

・Small Island Developing States(SIDS)と共同でセミナーを2000年にシドニーで開催し、23の太平洋諸国、トリニダードトバコ、ザンジバルの代表者と意見交換を行った。AusAid, FAO, NZAidなどの支援を得て、Sydney Agenda for Action, Small Island Developing States and Millennium Development Goals: Building the capacity を出版した。

協力

○2010年2月のガーナでの地域ミーティングにおいて、ガーナ測量士会との連携を行った。Africa Task Force: Planning for Infrastructure でも引き続き活動を行う予定である。

○Commission 3,4,7,9とも引き続き協力を行う。9と2とは、新しい連携可能性について検討を始める。

○その他、ガーナやケニアの測量士会と共通プラットフォームの構築などを行った。

○国連（UN）との連携も活発に行っている。

以上